

令和2年度新たな時代を切り拓く農林水産人材育成事業業務委託に関する質問及び回答

質問①

オンラインを活用した研修の実施に関する参加者の募集について、県の普及担当や関係機関からの周知等、県と協力して行うイメージでしょうか。

研修参加者の募集及び申込受付は受託者が行うこととしていますので、参加者の募集方法や独自の周知先等についてご提案をお願いします。なお、周知等については県や関係機関も協力致します。

質問②

オンラインを活用した研修のカリキュラム自体は1講座(90分)×6講座を実施するという理解でよいでしょうか？

仕様書では、90分程度の講座をそれぞれ異なるテーマで年間6講座開催することとしていますので、ご質問の通りで問題ございません。ただし、1講座の時間は必ずしも90分に限るものではございませんので、テーマや実施方法等を考慮し、最も効果的な研修となるようご提案をお願いします。

質問③

オンラインを活用した研修を実施する日時については委託者の提案でよろしいでしょうか？

研修日程や実施する時間については、効果的な研修となる様にご提案をお願いします。契約後に受託者からの提案を基に、県と協議のうえ決定します。

質問④

オンラインを活用した研修で講義を行う講師は、必ずフォローアップも行わなければならないでしょうか？

研修参加者が計画する新たなビジネスへの展開や新商品など、その取組内容に最もふさわしい講師等を派遣することを想定しています。このため、研修で講義を行った講師が必ずしもフォローアップを行うものではありません。

質問⑤

講師等による研修参加者のフォローアップの実施について、フォローアップを行うのは、オンラインを活用した研修で実施した研修講師がマストでしょうか？

質問④でも回答した通り、研修で講義を行った講師によるフォローアップが必須ではありません。

質問⑥

講師等による研修参加者のフォローアップの実施について、研修参加者が提出する計画書の様式は決まっていますでしょうか？それとも委託者による提案でしょうか？

計画書の様式は契約後に受託者と県で協議し決定する予定です。

質問⑦

講師等による研修参加者のフォローアップの実施について、選定委員会は外部有識者も招聘する必要がありますでしょうか？

選定委員会への外部有識者の招聘は必須ではありません。

質問⑧

講師等による研修参加者のフォローアップの実施について、対象先 10 件を目安ということですが、満たない場合にペナルティはありますか

県として本事業で 10 件のフォローアップを目標としていますので、数多くの研修参加者が、新たなチャレンジに踏み出したくなるような研修内容のご提案をお願いします。10 件に満たない場合にペナルティはありませんが、対象先数によっては契約金額の変更協議をさせていただくことがあります。

質問⑨

「みえ食のイノベーション創出プラットフォーム構築業務」について詳細を教えてください。

「みえ食のイノベーション創出プラットフォーム構築業務」の概要は以下の通りです。

三重県では、多様な主体の連携による農林水産資源の高付加価値化や新たな価値の創出、三重ブランドの認定、食育や地産地消の推進など、様々な取組を進めることで「持続可能なもうかる農林水産業」の実現をめざしているところである。

これらの取組を一層推進していくためには、それぞれの情報を広く発信することが求められる。そのため、それらの情報を集約し、生産者やバイヤー等関係者にとってわかりやすいウェブサイトを作成する。また、当該ウェブサイトでは、新型コロナウイルスの影響でオンライン会議が広がり、日常となりつつあることをとらえ、オンライン上で行うバイヤーと生産者のマッチング及び新たなイノベーションを生み出すための事業者同士の交流の場を整備する。さらに、県産食材を紹介したカタログをオンライン上で閲覧できる仕組みを整え、県産農林水産物の新たな販路拡大をめざす「みえ食のイノベーション創出プラットフォーム」を構築する。

現在、企画提案コンペ (<https://www.pref.mie.lg.jp/NYUSATSU/m0024500053.htm>) で業務受託者を募集しています。

質問⑩

プレゼンテーション大会の開催について、バイヤーや投資家について県からの推薦等は特になく、すべて委託者による提案でよろしいでしょうか？

ご提案をお願いします。契約後に受託者からの提案を基に、県と協議のうえ決定します。

質問⑪

プレゼンテーション大会の開催について、表彰と併せて賞金（実現に向けた補助費）等のインセンティブの支出は委託費においてできないという理解でよいでしょうか？

賞金等のインセンティブの支出は対象外とします。

質問⑫

プレゼンテーション大会の開催について、フォローアップした農林水産業者等を中心にとあるが、フォローアップをしていない事業者も参加対象にする場合があるという理解でよいでしょうか？

プレゼンテーション大会の参加対象は、開催する研修6講座のうち少なくとも1講座以上受講した事業者とします。研修の受講者でフォローアップを希望しない事業者がプレゼンテーション大会への参加を希望する場合は参加対象とします。

質問⑬

事業全体の対象として、農林水産業者（一次産業者）だけでなく、農林水産物を扱っている食品加工業者（二次産業者）も参加対象という理解でよいでしょうか？また、販売・サービス・飲食店等（三次産業者）は対象外でしょうか？

本事業の対象は、農林水産生産者及び農林水産物加工品製造業者としています。このため、二次産業者は対象としますが、三次産業者は対象として想定していません。

質問⑭

講師等による研修参加者のフォローアップの実施について、フォローアップ謝金の規定はありますか？委託者の提案でよろしいでしょうか？

本事業の謝金については、県の規定ではなく、受託者において定めた謝金規定に基づき運営いただきます。

質問⑮

費用計上に関して、費用積算書では人件費項目がありますが、弊社では人件費は個人情報にあたるため、各商品の提供価格で積算いたしますが、問題ないでしょうか。

問題ございません。

質問⑯

評価方法について、入札価格点と技術評価点の配点割合はどのようになりますでしょうか。

入札価格点と技術評価点といった区分は設けていません。審査は、的確性、企画性、専門性、調整力、情報発信力、経済性、業務推進体制の7項目を各選定委員が「5・4・3・2・1」の5段階でそれぞれ絶対評価し、その合計点が多いものを最優秀受託候補者とします。

質問⑰

講師への謝金額として三重県の指針や参考額はございますでしょうか。

本事業の謝金については、県の規定ではなく、受託者において定めた謝金規定に基づき運営いただきます。

質問⑱

プレゼンテーションに関して

- 1.会場のキャパシティの参考規模はございますでしょうか。また、何名くらい参加想定でしょうか
- 2.招聘予定バイヤー等と記載がありますが、バイヤー以外であればどういった候補がありますでしょうか。また、こちらから新たに候補を提示する場合、こういう目的なのでこういう人を呼んで欲しい等ありましたらご教示願います。
- 3.コンテスト受賞者へ、県として提供する予定または提供できるものはございますでしょうか。

1.会場には発表者や県関係者などが 25～30 名程度の参加を想定しており、ソーシャルディスタンスの確保を考慮し、現時点では 50～60 名程度が収容できる会場を想定しています。

2.プレゼンテーション大会が、参加者にとって有意義なものになるよう、招聘候補のご提案をお願いします。

3.現時点で本事業による表彰と情報発信以外の提供予定はございません。前述の「みえ食のイノベーション創出プラットフォーム」等で事業化等のサポートを実施する予定です。

質問⑲

フォローアップを受ける研修参加者の選考ですが、本事業を最も効果的に実施するという目的において、オンライン研修の実施前、又はオンライン研修期間の途中に選考を実施し、オンライン研修期間中にフォローアップを同時進行することも可能でしょうか。また、それが可能な場合、留意すべきことがありましたらご教示いただけますでしょうか。

フォローアップの対象先は、開催する研修 6 講座のうち少なくとも 1 講座以上受講した事業者としますので、研修実施前の選考はできません。1 回研修を行ったあとであれば、途中で複数回選考を行うことは可能ですので、業務執行スケジュールとあわせてご提案をお願いします。

質問⑳

事業終了時、委託料の請求に際しては発生原価の証跡書類（原価支払に際しての領収書原本等）や人件費発生証跡書類（賃金台帳等の個々の人件費支給の根拠書類等）の提出は不要の認識で宜しいでしょうか。（実施報告書はご提出する前提でのご質問になります。）

発生原価や人件費の証跡書類の提出は不要ですが、業務完了報告書が提出された後に、仕様書どおりに業務が実施されたことを確認させていただきます。